

赤坂九丁目地区開発事業 既存樹木移植工事

緑を、継ぐ。

Tokyo Mid-town Project

歴史ある赤坂・六本木地区に根づいた貴重な緑を守りつづけます。

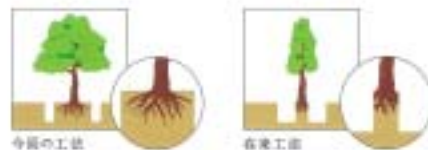
敷地面積78,394㎡と広大なこの土地は防衛庁検閲庁舎の跡地であり、私たちは現在、住宅・オフィス・商業・ホテルからなる複合開発事業を進めています。敷地内には、当時の樹木が残されていますが、私たちはこの都心の貴重な緑をできる限り受け継ぎたいと考え、本体建築工事に先立ち移植基盤を整備し、既存樹木を移植する計画を策定しました。一本一本の生育状態をすみずみまで調査することから始め、同じ敷地内への仮移植ののち、健康な状態を保ったまま本移植へと移行します。移植工事は樹木に優しい工法を用い、敷地内での管理は開発事業完成後も続けていきます。



旧・防衛庁検閲庁舎 (2011年撮影)

樹木に優しい工法で移植します。

なるべく樹木の根を切らないように、特別な専用機械を使って在来工法よりも大きな範囲で土ごと掘り起こし、そのまま移植場所に移動させます。在来工法では、根を切るためにそれに見合った分だけ地上の枝を剪定する必要がありましたが、今回の工法では枝を大きく切り詰める必要がなく、現状の姿のまま移植できます。



敷地内のクスノキ



敷地内のイチョウ

敷地内の木、一本一本をいかして、皆様の憩いの場をつくっていきます。

Tokyo Mid-town Project

約140本の既存樹木を移植します。



この他に以下の12種を移植予定。

エノキ	ケヤキ	ウバメガシ	オトメツバキ
モッコク	モミジ	ヒイラギモクセイ	スズカケノキ
スダジイ	タイサンボク	ベニカナメモチ	キンモクセイ



敷地内のサクラ (ソメイヨシノ)

樹木は、樹齡・樹勢・根の張り具合など、それぞれ異なります。生育状態が悪くて移植に耐えられない樹木、根が道路にかかっている樹木、移植のための機械が入らない場所にある樹木等は伐採せざるを得ません。敷地内の既存樹木の状態を樹木医が一本一本調査し、移植に適していると総合的に判断した約140本を選定しました。

対象樹木

移植場所

樹木を同じ敷地内で育みます。

敷地内に樹木育成エリアを用意し、本体建築工事中はそこへ樹木を移植し、育成します。他の土地ではなく同じ敷地内に移植することにより、樹木は大きな環境変化を避けられるので、健全な生育状態を維持できます。



移植工事スケジュール



街のオープン
平成19年度

敷地内の風景



現地で行われた埋蔵文化財調査の際も、既存樹木の根を傷つけないように配慮して作業を進めました。

敷地内のクスノキ



写真はイメージです。



敷地内のマクワ



この地の樹木を守るとともに、
新たに樹木を植えることで
緑あふれる街をつくります。



※構想段階のイメージ図です。
種別公団部分については、進捗により整備計画案が検討される予定です。

お問い合わせ先
三井不動産六本木プロジェクト 現地事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番5号 TEL (03)3746-8857